



特別支援教育における I C T 活用

# 「@MIYAGI Style」について

Assistive Technology MIYAGI Style

宮城県教育委員会

## 1 @MIYAGI Style とは？

I C T 機器等の活用は、特別な教育的ニーズを有する児童生徒にとって、様々な困難を減らしたり、新たな方法に取り組みやすくしたり、これまで以上に学習や生活面における自立、そして社会参加を進めることができます。このことは、特別支援学校だけではなく、インクルーシブ教育システム\*の構築や合理的配慮という観点から全ての学校で大切にしたい考えです。

宮城県教育委員会では、平成 27 年 11 月に教科指導における I C T の活用の方針として MIYAGI Style を提案し、I C T 活用を進めています。しかし、MIYAGI Style では、このような困難さを減らしたり取り除いたりするような I C T 活用については、触れていません。そこで、宮城県教育委員会では、特別支援教育における I C T 活用を推進するため、@MIYAGI Style を提案します。

@MIYAGI Style は、「あつと みやぎ すたいる」と読みます。「@ (あつと)」は、Assistive Technology (支援技術) の省略形である AT を語源としています。

\*インクルーシブ教育システム 人間の多様性の尊重等の強化、障害者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするとの目的の下、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組み

## 2 必要な人が、必要な時に、必要な場所で支援機器を使える。

@MIYAGI Style は、単に学校での学習や生活だけで I C T 機器を活用することを提案するものではありません。生涯にわたって、生活を豊かなものにし、自立や社会参加を実現するために適切な支援機器等を用いることを提案するものです。

特に近年、急速に普及しているタブレット P C、スマートフォン等の I C T 機器は、これまで活用されてきた支援のための専用機器より、小型で多機能、そして安価なものも多く、支援機器として活用されることが多くなっています。

@MIYAGI Style では、

- 必要な人が支援機器を使える。
- 必要な時に支援機器を使える。
- 必要な場所で支援機器を使える。

を実現し、学習や生活の充実を目的としています。そして、将来的な自立や社会参加を目標とします。



## 3 @MIYAGI Style の詳細について

@MIYAGI Style が想定している具体的な I C T 機器の活用事例やタブレット P C の選定等については、@MIYAGI Style のホームページで PDF ファイルを配布しています。

この PDF ファイルでは、就学奨励金を活用した生徒一人 1 台環境を実現した県内の特別支援学校の事例等も掲載しています。

<https://www.pref.miyagi.jp/site/ictedu/at-miyagistyle.html>

※検索サイトで「@MIYAGI Style」のキーワードで検索可能です。

## 4 @MIYAGI Style に関するお問い合わせ先

宮城県教育庁教育企画室 情報化推進班 TEL 022-211-3612  
メール kyoikupi@pref.miyagi.lg.jp